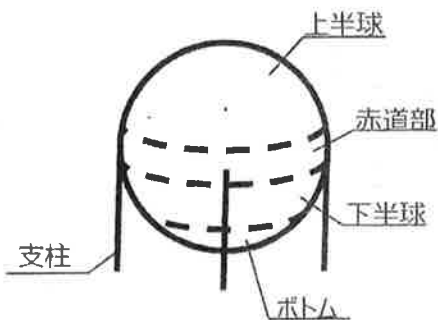


足利ガス

球形2号ガスホルダーを解体

珍しいリンゴ皮むき工法で



解体工事前の球形ガスホルダー

今回の球形ガスホルダーの解体は「リンゴ皮むき工法」という珍しい方式を採用し、騒音防止と解体費用の削減を図って

ことになった。今回、ガス輸送導管の整備も進み、2号球形ガスホルダーはその役目を終えたため、このたび解体することになった。

その後の我が国のエネルギー技術の進歩は目覚ましく、現在ではガスコンロや給湯はもとより空調や発電、工業用ボイラなどにも利用され、約1万7500件のユーザーに都市ガスを届けている。

足利ガス株式会社(石川恭敏代表取締役)は、10月18日まで、同社の球形ガスホルダーの解体工事を実施している。

今回解体する2号球形ガスホルダーは、昭和45年にガスの安定供給を目的に建設され、同社までガスを運んでいる天然ガス輸送導管の移設や、遮断装置の増設などの供給停止時のバックアップの役割りを担ってきた。天然ガス輸送導管の整備も進み、2号球形ガスホルダーはその役目を終えたため、このたび解体することになった。

同社は1911年(明治44年)設立以来100年にわたり、地域社会に信頼され、着実に成長してきた。当初の都市ガス供給件数は1207件で、家庭用ではガス灯や台所の新炭に代わる熱源として、産業用では織物産業が盛んだったことから織物機械の動力用ガスエンジンの燃料として利用されていた。

同社は1911年(明治44年)設立以来100年にわたり、地域社会に信頼され、着実に成長してきた。当初の都市ガス供給件数は1207件で、家庭用ではガス灯や台所の新炭に代わる熱源として、産業用では織物産業が盛んだったことから織物機械の動力用ガスエンジンの燃料として利用されていた。

地元産業、市民生活に貢献

48年間のお役目を終え新方式に

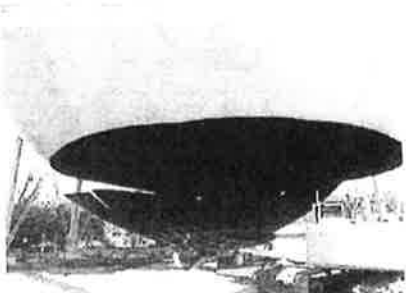
日刊

兩毛新聞

The Ryomo

発行所 (株)兩毛新聞社
〒326-0805 足利市巴町2543
TEL 0284-21-1366(代)
FAX 0284-21-6065
ryomo@river.sannet.ne.jp
定価(税込み)月さま1500円(税2500円)
— 紙 60円
©兩毛新聞社2018

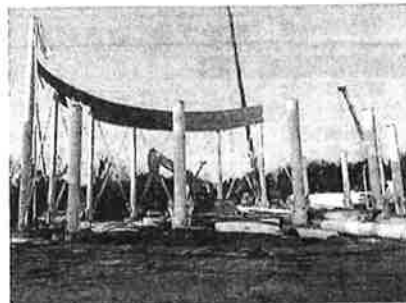
住み良い街・足利 いい土地あります。
土地・建物・売買・仲介・アバマン斡旋
株式会社 みやい
栃木県知事(3)第四四〇四号
栃木県建設取引業協会会員
〒326-0333
足利市筒屋町1177-10
TEL0284(72)2381
FAX0284(71)1413



ボトム開口



下半球リンゴ皮むき工法



赤道部・支柱撤去



上半球リンゴ皮むき工法